

兵庫県神戸市方宮における 身体感覚を表すオノマトペ

久木田 恵

はじめに

1. 調査対象地：兵庫県神戸市

兵庫県の県庁所在地。人口約144万人。538,160戸。
商業・港湾都市。

2. 調査年月日：1991年8月2日

3. 話者：茂田^{しげよ}淑^{とし}（大正14年2月生 66歳）久木田の母。神戸市中央区内（主に^{くも}熊内町）で生育。結婚後2年間宝塚市に在住。後、神戸市灘区高尾通に移住。 5年前須磨区に転居。

4. 調査者・調査場所：久木田 恵・茂田宅（神戸市須磨区白川台3丁目）

5. 調査方法・調査時の様子：面接質問法・家事をしながらリラックスした状態で。

I 全身の感覚

1-1 快感

サッパリした（入浴後・排便後）

スッキリした（排便後）

1-2 寒さ

ガタガタ（病気の時）

ブルブル（寒い時）

ゾクゾク（風邪の時）

スースーする（隙間風の時。風邪では言わない。）

1-3 熱さ

カッカする（熱い）

ホカホカ（暖まる）

ホンワカ（最も緩い温もり）

*全身の感覚については、共通語形と同じで、語形も少なく、特筆すべき物は認められない。

II 皮膚の感覚

ヒリヒリ（海水浴での日焼け）

ピリピリ (ヒリヒリよりひどい。痛い)

ベチャベ「チャ」や (汗など。水っぽく、サラッとしている。)

ベツ「チャ (ベチャベチャより少し粘り気がある)

ベタベ「タ (粘り気があり、ネットリしている)

ベツ「タ・ベツ「タ」リ (ベタベタより粘り気がある)

ネタネ「タ (塩気を含む)

ネツ「タ (ネタネタより粘り気が強い)

ムズ「ム」ズする (背中に何か入った時)

カサカ「サ・カ」サカサしてる (皮膚の乾燥)

ガサガ「サ (カサカサよりひどい)

パッサバ「サ (最も乾燥程度大)

ツルツ「ル・ツ」ルツルする (肌に潤いがある時)

スベス「ベ・ス」スベスする・(ス「ベ」スベする) (ツルツルと同じ)

切り傷

ズ「キズキ

キ「リキリ

ズツ「キン」ズッキンする

転ぶ

ヒヤ「ー」ット痛い

ズ「キン」ト痛い

ズキズキ「ー」ット痛い (腫れてくるような時)

擦り傷

ヒ「リヒリ」痛い

火傷

ピ「リピリ

でき物

ズ「キ」ズキする

ズッキ「ン」ズッキン (ズキズキよりひどい。腫んできた時)

ジュ「ク」ジユクする (化膿した傷口)

しもやけ

ズ「キ」ズキ (くずれた時)

ヒ「リヒリ

キ「リキリ

ポヨポ「ヨ

ブヨブ「ヨ (ポヨポヨより軟らかい)

痒い時

イ「ラ」イラする・イ「ライ」ライラする（気持ちも両方）

○「シモヤケ カ「イ」トキ 「イ」ライラスル。

しもやけが痒い時はイライラする。

イ「ジ」イジ（耳の中が痒い時）

*痛みに関する物は語彙量が比較的豊富である。転んだ時のヒヤート、しもやけのキリキリ・イライラは久木田は自分では使わない。また、シモヤケはカイイタ「ー」イ（痒い）と言うだけのことが多いとのことである。

Ⅲ 頭部の感覚

3-1 頭

ズ「キンズ」キン・ズ「キ」ンズ「キ」ン（ひどく痛い時）

ガ「ン」ガン（ズキンズキンの方をよく使う）

ク「ラ」クラ（めまい）

フ「ラ」フラ（酔った時）

3-2 顔面

カ「ー」ットする（恥ずかしい時）

3-2' 頬

ホ「ー」ット（熱くなる。時間が長くかかる）

ポ「ー」ット（短時間で熱くなる）

ホン「ワ」カ（ゆっくり温かくなる）

ホ「カ」ホカ（温かくなる）

カ「ッ」ッカ（熱い）

*冷たいのは言わない。○サ「ー」ケド 「ツメ」タイ「ノ」ワ ナイ 「ネ」ー。

アンマ「リ」 「キ」カン ネー。でも冷たいのは無いねえ。余り聞かないねえ。

3-3 目

チ「カ」チカする（TVの見過ぎ）

ショ「ボ」ショボ（見えにくい時・眩しい時）

チ「ク」チク（目にゴミが入った時）

ゴ「ロ」ゴロ（丸い大きなゴミが入った時）

コ「ロ」コロ（小さいゴミが当たる時）

*煙い時は「滲むように痛い」としか言わない。

3-4 耳

ウ「ズ」ズズする（うるさい時）

キー「ン」（飛行機のような金属音）

ジー「ン」トする

ズシー「ン」トする（雷が落ちて響いた時）

○ズジー「ン」ト 「ツンザク」ッタ ワ。 ズシーンと耳をつんざいたわ。

ジ「ク」ジク（耳汁が出た時）

ジュ「ク」ジュク

イ「ジ」イジ（耳の中が痒い時）

3-5 鼻

ツ「ン」トする（くしゃみが出そうな時）

ム「ズ」ムズ（くしゃみが出そうな時）

ズ「ル」ズル（鼻汁が出る時）

ズ「ル」ット（ドボッと鼻汁が出る）

ツ「ン」トした（ワサビで）

3-6 口

口全体

粘り

ネバネ「バ・ネ」バネバ する

ネバ「ー」ットする

ネチャネ「チャ（ネバネバよりもっとベッタベッタでひっつきまわる）

○ネチャ「ー」ット 「シ」タンヤケレドモ 「ネ。 ベタ「ー」ット 「シ」タノンデ モ 「チョ」ット サ「ラ」ット シ「ト」ン ノ。
ネチャーッとしたのだけれどもね。ベターッとしたのでもう少しサラットしているの。

ネ「チャ」ットする（キャラメルぐらい）

ネチャ「ー」ットする（ネチャットより粘り気大）

ネッチャネ「チャ（程度大）

ベタベ「タ（ジャムがついた時）

ベッタベツ「タ（ベタベタのひどい時）

ベタ「ー」ットする

*ベタベタが広い面であるのに対して、ネッチャネチャはより狭く、粘り気がある。
ネバネバの方がサラットしている。

甘味

ベタ「ー」ットする（甘すぎる時）

歯

寒い時

ギ「シ」ギシ

ガ「チガチ

ガ「シガシ

カ「チカチ

虫歯

チ「クチク

シク「シ「ク

ズ「キズキ（ひどい時）

ズッ「キ「ンズッキン（程度大）

舌（辛い物を食べた時）

ヒ「リヒリ

ピ「リピリ（ヒリヒリよりひどい）

カ「ー「ットする（ピリピリより程度大）

ハ「ー「ットする（カーッと同程度。こちらをよく使う）

3-7 喉

カラカ「ラ（喉が渴いた時）

カラッカ「ラ（カラカラより程度大）

イ「ガ「イガ（アクの抜けていない筍を食べた時。余り使わない）

*エグイ時は「アー エグー」とだけ言う。

ガ「ラガラ（風邪の時）

イ「ラ「イラ（空気が悪い時）

ヒュ「ーヒュー（以下、ゴロゴロまで喘息の時）

ヒ「ーヒー

ゼ「ーゼー

ゴ「ロゴロ

*喘息で本人が苦しい時は特に言わない。

3-8 髪

ベトベ「ト（汚れた時）

ネタネ「タ（汚れた時）

ザラザ「ラ（砂ほこりで汚れた時）

サラサ「ラ（洗ってきれいな時）

ピンピ「ン（毛が跳ねて乱れている時）

バサバ「サ（乱れている時）

クチャク「チャ（毛がもつれている時）

チリチ「リ（パーマがかかりすぎた時）

ゴ「ワゴワ・ゴワゴ「ワ（硬い毛）

フワフ「ワ（柔らかい毛）

フ「ワーッ」ト（柔らかい毛）

フッ「ク」ラ（膨らみのある、柔らかい髪型）

* 調査項目に頬と髪を加えた。口の項で粘りを表す語彙が豊富である。痛みを表す語彙量も多い。母が耳をツンザクの過去形にツンザクッタを使っていることを初めて知った。

IV 胴体の感覚

4-1 肩

カチカ「チ（凝っている時）

カチンカチ「ン（カチカチより強い）

カッチンカッチ「ン（カチンカチンより程度大）

カチコ「チ

コチコ「チ（カチカチのひどいの）

コッチコ「チ（コチコチより強い）

コッチンコッチ「ン（コッチコチより程度大）

ピー「ン」トしてる（肩が張っている時）

キー「ン」トなる

ゴ「リゴリする（凝って筋肉が硬い時）

4-2 胸

ド「キドキする（恐ろしかった時）

ド「ッキンドッキン

キュー「ン」トする（悲しい時）

キュ「ット（瞬間的痛み。悲しい時ではない）

ム「カムカ（悪い物を食べた時）

ム「カ」ムカ（ムカムカより程度大）

4-3 腹

空腹

グ「ーグ・グ」ーグー

キュー「ン」トなる（グーグーのひどい時）

満腹

チャボチャ「ボ（水などを飲み過ぎた時）

チャッポンチャッポ「ン（チャボチャボより程度大。ゆっくりいっぱいになる）

ダボダ「ボ（飲み過ぎた時。太った時にも言う）

ダボンダボ「ン（ダボダボより程度大）

タ「ボ」タボしてる・タ「ボ」タボしてる（まだたるみがある。太った時にも言う）

パンパ「ン（食べ過ぎた時）

腹下し

「ピッピー

「ピッ（いよいよ出る時）

ゴ「ロゴロ

ゴ「ロ「ロゴロ（ゴ「ロゴロのひどいの）

シ「クシク（下痢の始まり。ひどくなるとゴロゴロ）

4-4 胃

キ「リキリ痛む（ストレスで痛い時）

キ「リ「ット（突き刺さる痛み）

キュ「ー「ット（絞るような痛み）

チ「クチク（キリキリより緩い痛み。小刻み）

チ「ク「ット

シ「クシク（下痢の始まりのような、ちょっと冷えた時のような胃の痛み始め。
ストレスではなく、病気の時）

4-5 尻

ム「ズムズする・ム「ズ「ムズする（じれったい時。落ち着かない時）

ム「ズ「ムズする（ひどい時）

*ム「ズガ「ユイをよく使う。

*肩凝りに関する語彙量が特に豊富である。腹下しのゴロゴロはアクセントの違いで程度が異なる。

V 手足の感覚

5-1 手

手全体

ブ「ルブルふるえる

フ「ニャフニャする（力が抜ける。手が笑う）

フニャフ「ニャ・フニャフニャ「ニ」なる（フ「ニャフニャよりひどい）

フンニャフ「ニャ・フンニャフニャ「ニ」なる（最も程度大）

指先

ビ「リビリ（疲れて震える。初期。小刻み）

ブ「ルブル（ビリビリより大きな震え）

ジ「ンジン（疲れ。ビリビリのひどいの）

チ「クチク（けがで痛む時。使い過ぎの時）

5-2 足

ガ^レクガク・ガ^レクガ^レク（ガ^レクガクをよく使う）

ガ^レツガツ（ガクガクより広い範囲でややひどい時）

ガ^レク^ンガ^レク^ン（最も程度大）

5-3 感触

ヌ^レル^レットしてる（気持ちが悪い。逃げて行きそうで掴めない）

ヌ^レルヌ^レル（ヌ^レル^レットに同じ）

ヌ^レルヌ^レ「^レル（程度大）

ヌ^レ「^メ」^レットしている（ヌ^レルヌ^レルより粘りがある）

ヌ^レ「^メ」ヌ^レ「^メ」（ヌ^レ「^メ」^レットに同じ）

ベ^レタ^レ「^タ」（粘り気を含んだ水分）

ベ^レ「^タ」^レリ（ベ^レタ^レ「^タ」よりやや粘り気がある）

ベ^レ「^タ」^レ「^レ」^レットしてる（ベ^レ「^タ」^レリよりしつこい）

ベ^レ「^{チャ}」^レ「^{チャ}」（ベ^レ「^{チャ}」^レ「^{チャ}」より粘り気が多い時）

ベ^レ「^{チャ}」^レ「^{チャ}」^レリ（ベ^レ「^{チャ}」^レ「^{チャ}」よりやや粘り気が多い）

ネ^レタ^レ「^タ」（ベ^レ「^{チャ}」^レ「^{チャ}」より粘り気が多く、水分は少ない。くっつく感じ）

ネ^レ「^タ」^レ「^レ」^レットしてる（ネ^レタ^レ「^タ」より粘り気がやや多い）

ネ^レ「^{チャ}」^レ「^{チャ}」（粘り気が多い時）

ネ^レ「^{チャ}」^レ「^{チャ}」^レリ（ネ^レ「^{チャ}」^レ「^{チャ}」より粘り気が強い）

ネ^レ「^{チャ}」^レ「^{チャ}」^レ「^レ」^レットしてる（最も粘り気が強い）

ジ^レ「^ト」^レットしてる（湿気ている）

サ^レ「^ラ」^レットしてる（乾いている）

サ^レ「^ラ」サ^レ「^ラ」してる（乾いていてきめが細かい。砂など）

カ^レ「^ラ」^レットしてる（洗濯物がよく乾いている時）

ザ^レ「^ラ」ザ^レ「^ラ」（きめが荒い）

ゴ^レ「^ツ」^レ「^ツ」（岩や骨っぽい手など）

デ^レ「^コ」^レ「^ボ」^レ「^コ」してる（感触にも使うが、きめに対して言う方が多い）

ツ^レ「^ル」^レ「^ツ」^レ「^ル」してる（光沢があって滑らか）

ツ^レ「^ル」^レ「^ル」^レットしてる（表面が滑らか）

* 指先の項を加えた。感触についてはもっときめ細かい調査が必要である。手の震えで
フニャフニャ「～する」と「～なる」で程度差があるのが興味深い。

VI 関節（骨）の感覚

ガ^レ「^ク」^レ「^ン」^レトする（首を寝違えた時）

ガ^レ「^ツ」^レ「^ン」^レトする（ガ^レ「^ク」^レ「^ン」^レトに同じ）

* ゴキゴキを言う人もあるが、自分は使わない。

ギ「シ」キシ（骨がきしむ時）

ボ「キ」ボキ（骨がきしんだり、折れたりする時）

ポ「キ」ポキする（骨の音。音が1回でもポキポキと2回言う）

ポキ「ン」ト折れる（たくさんは折れないので疊語形ではない）

ポッ「キ」リ折れる（ポキントに同じ）

ゴ「ツ」ゴツ（瘦せた人）

*骨の音が1回でも疊語形であるのが興味深い。ガツントは筆者は余り聞かないし、使わない。

まとめ

当該方言では共通語のオノマトペと大差はないようである。しかし、親子であっても今回の調査で初めて聞いたものや、アクセントによって程度差を使い分けているものがあるなど、興味深い結果も得られた。語彙量も特に多いわけではないが、痛みや粘り気に関する語彙は豊富である。女性を対象としたため髪に関する語彙がかなり得られた。手足の感触に関する語彙は、項目をもっと吟味してきめ細かい調査をする必要があろう。

以上

（くきためぐみ 愛知教育大学）